



カブトガニ博物館 HP より

カブトガニを守る意味

～生きている化石 カブトガニが

今、絶滅の危機に瀕している～



笠岡のカブトガニ生息地は、研究者にとって重要な調査・研究の場所であり、国内外から多くの人を訪れていました。そのため、1928年（昭和3年）生江浜海岸の生息地が「天然記念物カブトガニ繁殖地」として国の指定を受けました。その反面、1966年（昭和41年）から笠岡湾干拓が1811畝におよび実施され、笠岡湾の大半と指定地の生江浜海岸が陸地となりその後、笠岡湾干拓の影響で、水質汚染が進行してしまいました。



そのため1971年（昭和46年）に、湾の出口にあたる神島水道が、新たな繁殖地として追加指定されました。また、1975年（昭和50年）には「カブトガニ保護センター」が、1990年（平成2年）には「カブトガニ博物館」も建設されました。

今後、カブトガニを保護していくためには、どのような取り組みが必要でしょうか。笠岡の地で学ぶ千鳥生として、カブトガニが絶滅危惧Ⅰ類（レッドリスト）に瀕しているのを、手をこまねいて見ているだけはいけませんよね！
みんなで一緒に考えませんか！！

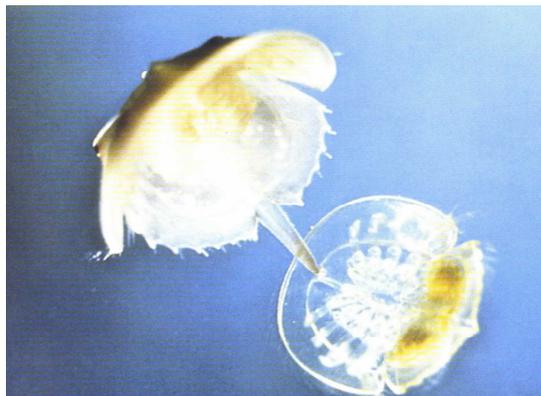


今回、カブトガニ博物館から貴重なカブトガニの脱皮殻を提供して頂きました。

千鳥ラボでは、**図書委員会とコラボ**して、カブトガニについて書物、新聞などを活用して詳しく調べたいと思います。また、頂いた脱皮殻をエポキシ樹脂で封をし、**自分だけの標本を作成**しようと思います。



カブトガニ博物館 HP より



下記日程で実施します。希望者は、笠岡高校 HP から申し込むか、時間割変更黒板に掲げている申込書を提出して下さい。

記

- 対象 1, 2年生希望者 30名程度
- 日時 平成28年7月9日（土）14時～15時頃まで
- 場所 生物第2実験室
- 準備物 筆記用具（参加費は無料です）
- 申込締切日 6月27日（月）2年生は修学旅行前に申し込んで下さい。

* カブトガニの脱皮殻の数に限りがありますので、定員になり次第締め切ります。

